

アンボンド工法用スペーサー

1. 概要

最近、スラブの長大化、施工の簡略化などの要求に応じて、ショッピングセンター、ショールーム、倉庫等にアンボンドフラットスラブ工法が用いられるケースが増えている。その際、使用されるアンボンドPCケーブルの設置には、応力解析によるPCケーブル曲線に合致した微妙な位置、高さの調整が不可欠である。

当社では、長年の実績により、この要求を満たす各種アンボンド工法用スペーサーを製造している。

2. 特長

- 1) 製作精度が高く、許容誤差が極めて小さい（許容誤差±0.5 mm以内）。
- 2) 受け部が凹状になっており、PCケーブルの左右へのずれがない。
- 3) 固定方法が簡便である。

3. アンボンドS型

アンボンドS型は、アンボンドストランドの単独型シース受けスペーサーである。概観を写真-1、図-1に示す。

組立後の下端筋に結束固定させるときは、足元に2列の直線を配して行う。

生産は、指定されたアンボンドシース径、 H 寸法

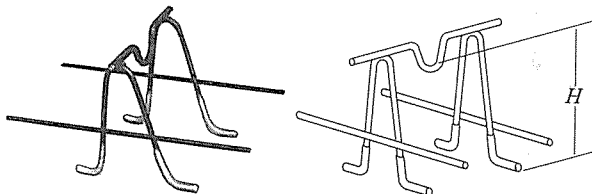


写真-1 アンボンドS型

図-1

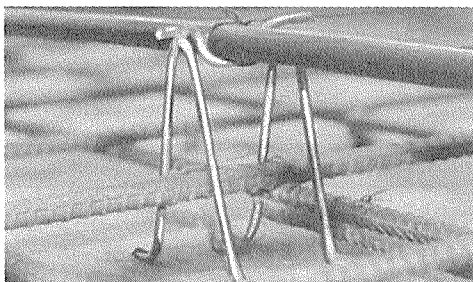


写真-2 アンボンドS型設置状況

(50~180 mm程度) に従い行われる。

設置状況を写真-2に示す。

4. アンボンドバー型

アンボンドバー型は、並行する多本数のアンボンドストランドシースを等間隔あるいは異間隔に受けるスペーサーであり、特に柱列帯等に最適な製品である。概観を写真-3、図-2に示す。

生産は、指定されたシース間隔(70 mm以上300 mm程度)、本数および H 寸法(50 mm~180 mm程度)に従って行われる。全長は1500 mmまで製作可能である。

設置状況を写真-4に示す。

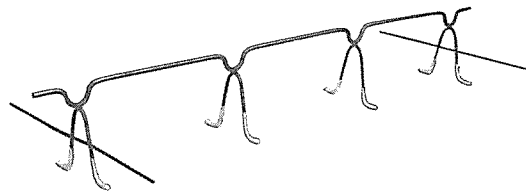


写真-3 アンボンドバー型（4本受け）

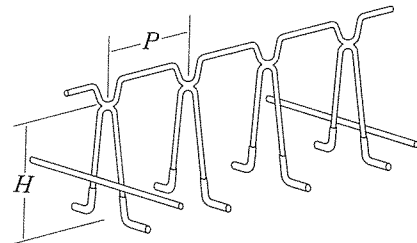


図-2

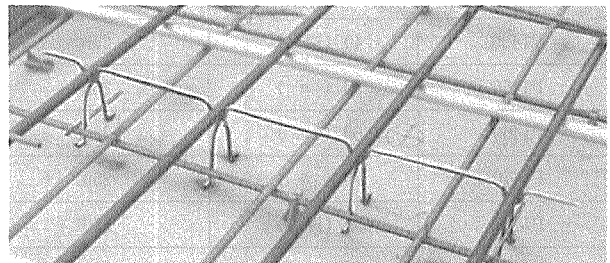


写真-4 アンボンドバー型（4本受け）設置状況

問合せ先

(株)日本インダストリー製作所

〒550 大阪府大阪市西区南堀江2-4-8

TEL 06-541-7651